

【2024 年度/総合基礎科目領域/外国語科目群】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等	
英語 II-2 (人間コミュニケーション学科)	HLA22-002	必修	1	2	後期	
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー		
井上 美奈子	B311	minoue		月・火曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	<p><目的>グローバル化が進むなか、福祉分野、心理学分野で働く対人援助職者にとって必要な英語コミュニケーションスキルを伸ばすこと、また、分野に関連する語彙を増やし英語表現力や文献読解力を身につけることを目的とする。</p> <p><概要>英語 II-1 に引き続き、文法の知識をより確実にして基礎医療、福祉、心理学分野に関連した内容を扱いながら読解力や語彙を伸ばすための講義を行う。当該分野で起こりうる会話を想定した演習を行いコミュニケーション能力育成をはかる内容となっている。またパラグラフライティング練習を行いまたそれにそったプレゼンテーションを行うことにより発音やリスニング、コミュニケーション技術が習得できるよう構成されている。ユニットごとに小テスト(Review Quiz)で基本的な文法の知識や語彙知識の確立を図り、それに対するフィードバックで英語知識、分野知識の理解を深める内容となっている。また、ICT を活用し CALL(コンピューターを使った英語学習)、自己学習法を提案する。</p>					
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習)	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input checked="" type="checkbox"/> 実習	<input type="checkbox"/> PBL <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション	<input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・デバート <input checked="" type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク	
学習上の助言	授業は積極的に参加すること。英語読解では英語能力向上につながる音読を推奨する。					
教科書	English for Rehabilitation, Care & Support II –Human Communication Version 17/健康科学大学/2024 年					
参考書	英和辞典、英英辞典					
外部教材	CALL (Computer Assisted Language Learning) 活用					
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針		
①	基本的な英文法を理解し応用できる。			HSU (2)		
②	福祉、心理学に関する文献を英語で読んで理解できる。			HSU (2)		
③	福祉、心理学分野にかかわる英語の語句、用語、言い回しが理解できる。			HSU (2)		
④	日常、専門分野において基本の英語コミュニケーションがとれるようにする。			HSU (2)		
⑤	CALL で自主的に英語勉強できる方法を身につける。			HSU (2)		
授 業 計 画						
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)			
1	オリエンテーション シラバス (授業内容、成績評価法等) 及び授業の進め方について理解する。前期の復習をする。	講義・演習	前期復習プリントを確認する。	0.3		
2	パラグラフライティングの基礎を学ぶ。夏休みについてのパラグラフライティングを完成させ、発表の準備をする。	講義・演習	パラグラフを完成させる。	1.1		
3	夏休みに関するパラグラフを発表する。発表に対する質問の仕方を学ぶ。	講義・演習	発表の準備をする。	1		
4	パラグラフを返却しフィードバックを行う。CALL コンピューターを使った英語学習サイトで listening、grammar、会話文の練習をする。	講義・演習	CALL 学習を自己で行う。	1.2		
5	Unit3 ICF に関する語彙を学びそれをもとに reading を行う。	講義・演習 型授業	ICF に関する英語表現を復習する。	1		
6	Unit3 ICF 文法確認と練習を行い reading を続ける。	講義・演習	現在完了形を復習する。	1.2		
7	Unit3 ICF ICF のコンセプトを使いケースを学ぶ。Unit3 の総復習を行い小テストに備える。	講義・演習	プリントや教科書で復習し Quiz に備える。	1		
8	Review Quiz 1 Unit 6 Employment support の語彙を学ぶ。	講義・演習 小テスト	Unit6 単語の復習をする。	1		
9	小テストを返却しフィードバックを行う。Unit6 Employment support の reading、listening を行う。	講義・演習	就労支援に関する英語表現を復習する。	1.1		
10	Unit6 Employment support 文法を学び演習問題を行う。Unit 6 で学習した内容をプリントで確認、復習しテストに備える。	講義・演習	助動詞の復習し Unit6 の Quiz 準備をする。	1		
11	Review Quiz 2 Unit7 Counseling and psychology の語彙を学ぶ。	講義・演習 小テスト	心理学に関する単語を復習する。	1.1		
12	小テストを返却しフィードバックを行う。Unit7 Counseling and psychology reading や listening を通し理解する。	講義・演習	心理学とカウンセリングについて復習する。	1		
13	Unit7 Counseling and psychology Reading を引き続き行い文法の確認をする。Unit 7 で学習した内容をプリントで確認、復習テストに備える。	講義・演習	接頭語、接尾語について復習する。Unit7 Quiz に備える。	1		

【2024 年度/総合基礎科目領域/外国語科目群】

14	Review Quiz 3 後期の総まとめをワークシートで行う。	講義・演習 小テスト	ワークシートでこれまでの復習を行う。	1					
15	小テストを返却しフィードバックを行う。 ワークシートとこれまでの学習内容を確認し総括をおこなう。	講義・演習	ワークシートの確認と復習を行う。	1					
試	筆記試験/ 達成度評価・評価のポイントを参照								
達成度評価									
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計		
		70	0	20	0	10	100		
総合力指標	知識・技術力	70	0	0	0	0	70		
	思考・推論・創造する力	0	0	10	0	0	10		
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0		
	発表・表現伝達する力	0	0	10	0	0	10		
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0		
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10		
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0		
評価のポイント					フィードバックの方法				
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点							
試験	①	✓	各ユニットが終わるごとに小テスト(Review Quiz 3回実施トータル30%)、学期末に定期試験(筆記試験 40%)を行う。各試験では授業中に取り組んだ課題の内容に基づく問題を出題し、理解度を筆記試験で問う。 なお、各テストの前にはレビューセッションを行い学んだ内容を復習する時間をもつ。				小テスト、全体評・試験の添削・返却		
	②	✓							
	③	✓							
	④	✓							
	⑤								
	⑥								
レポート	①								
	②								
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
成果発表	①		夏休みに関するパラグラフを完成させ発表する。 パラグラフライティング 10%、発表 10%。				スクリプトの添削と返却 発表評価		
	②	✓							
	③	✓							
	④	✓							
	⑤	✓							
	⑥								
ポートフォリオ	①								
	②								
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
その他	①	✓	授業中グループで行う文法・語彙・リーディングの課題における参加姿勢、意欲を評価する (10%)。				評価ポイントの説明と講評		
	②	✓							
	③	✓							
	④								
	⑤								
	⑥								
備 考									
他 担 当 教 員	なし								
そ の 他	大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合には対面授業の参加は認めない。対面授業を行うが今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によって再度シラバスの変更が行われることもあり得る。 様々な課題の提出期限を厳守すること。								